赤城山南麓の縄文 Part2

Jomon Period In The Southern Foothills Of Mt.Akagi.Part 2

底の尖った土器

POINTED POTTERIES

The Oomuro Park®

縄文土器の移り変わり
Chronology Of Jomon Potteries

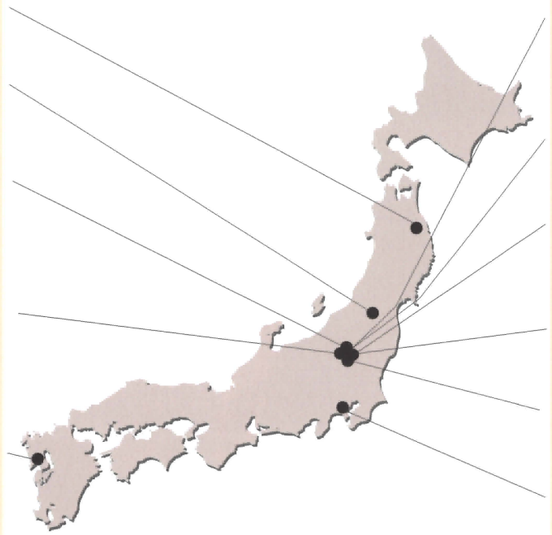
①田面木平(1)遺跡…青森県八戸市南白山台2丁目に所在。1986·86年の発掘調査で縄文早期～後期の遺跡を発掘。

②常世原田遺跡…福島県喜多方市塩川町常世字原田所在。1945年調査資料をもとに桑山龍進氏によって常世式が設定された。

③城山遺跡…渋川市北橘町下箱田字城山の標高200mの独立丘陵南斜面に立地。1987年の発掘で縄文早期を中心にした集落を発見。

④苗ケ島大畑遺跡…前橋市苗ケ島町にあり、粕川右岸の標高440mの台地上に立地。1993年に赤城高原牧場建設に伴って発掘。早期の炉穴15、陥穴160個など発見。

⑪泉福寺洞窟…国史跡。長崎県佐世保市瀬戸越町1571に所在。相浦川の左岸標高90mの丘陵南斜面に位置する。4つの洞穴から構成される。1970年から10年間、麻生優氏が調査。豆粒文土器は世界最古の土器として脚光を浴びた。



⑤柳久保遺跡群·柳久保遺跡…前橋市鶴が谷町にある標高108mの丘陵性台地の南東斜面に立地。1985·86年に住宅団地造成工事によって調査。縄文早期の土器が2014片出土。

⑥柳久保遺跡群·頭無遺跡…前橋市鶴が谷町にある標高109mの丘陵性台地の西側斜面に立地。1987年に住宅団地造成工事によって調査。縄文早期の土器が2548片出土。

⑦柳久保遺跡群·下鶴谷遺跡…前橋市鶴が谷町にある標高108mの丘陵性台地の西斜面に立地。1985·86年に住宅団地造成工事によって調査。縄文早期の土器が2337片出土。

⑧徳丸仲田遺跡…前橋市徳丸町に所在。北関東自動車道路の調査によって隆起線文土器が出土。

⑨下宿遺跡…太田市東金井町に所在。1984～1987年の調査によって爪形文土器が出土。

⑩多摩ニュータウンNo.72遺跡…東京都八王子市にある遺跡。多摩ニュータウン造成工事に伴う調査で縄文早期のほかに縄文中期の大集落が発見されている。

図1　底の尖った土器の出土地

編年図に掲載した土器の出土遺跡

1徳丸仲田遺跡（前橋市）、2·3下宿遺跡（太田市）、4城山遺跡（渋川市）、5諏訪西遺跡（渋川市）、6·8中棚遺跡（昭和村）、7柳久保遺跡群下鶴谷遺跡（前橋市）、9大林遺跡（安中市）、10坪井遺跡（長野原町）、11三原田城遺跡（渋川市）、12·32半田南原遺跡（渋川市）、13下箱田向山遺跡（渋川市）、14·16·22～24糸井宮前遺跡（昭和村）、15分郷八崎遺跡（渋川市）、17川白田遺跡（前橋市）、18清水山遺跡（みどり市）、19·26樋越上大屋遺跡群（前橋市）、20·21·23·29中野谷松原遺跡（安中市）、27·30·31両蛇井増光寺遺跡（富岡市）、28白倉下原遺跡（甘楽町）、33～35房谷戸遺跡（渋川市）、36～38道訓前遺跡（渋川市）、39荒砥前原遺跡（前橋市）、40～43波志江中野面遺跡（伊勢崎市）、44 小神明遺跡（前橋市）、45熊野谷遺跡（前橋市）、46～48荒砥二之堰遺跡（前橋市）、49·50·54～56曲沢遺跡（伊勢崎市）、51～53矢太神沼遺跡（太田市）、57～60·62吹屋中原遺跡（渋川市）、61·63深沢遺跡（みなかみ町）、64横俣遺跡群大道遺跡（前橋市）、65下新井遺跡（榛東村）、66大原道東遺跡（館林市）、67·68谷地遺跡（藤岡市）、69·71·73·75·76千網谷戸遺跡（桐生市）、70新治村役場遺跡（みなかみ町）、72～74保美濃山遺跡（藤岡市）

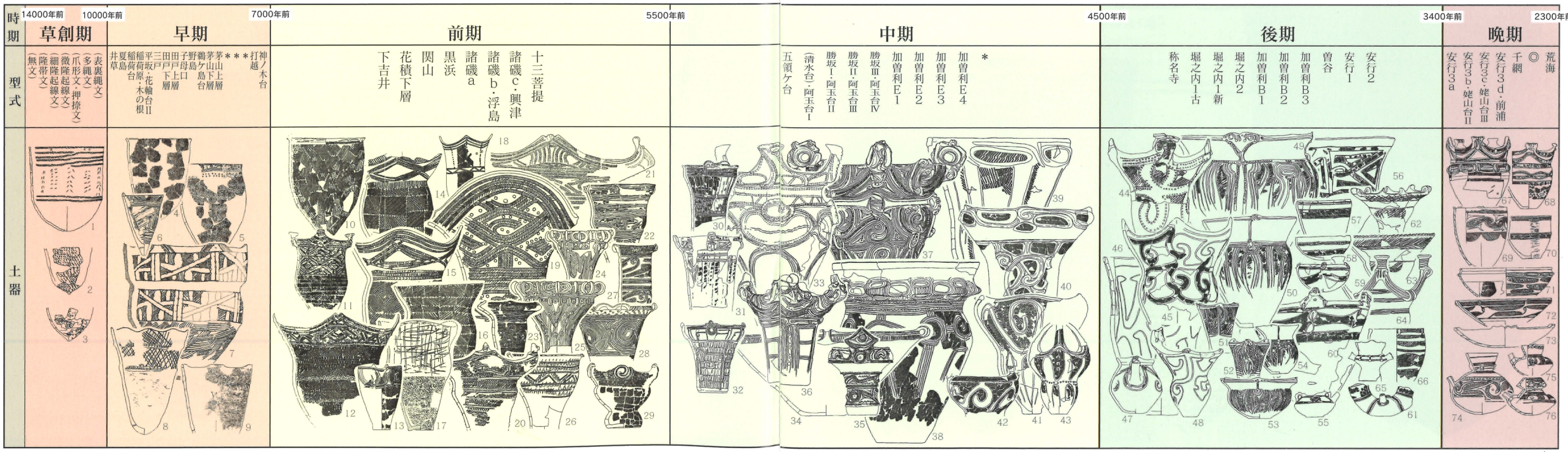


図2　縄文土器の移り変わり　群馬県教育委員会ほか　2005「時代が変わる道具も変わる」をもとに左右反転して作成

注）土器型式は三省堂「日本考古学事典」2003による。（　　）は出土遺跡ないし土器文様。◎は左の型式の継続を示す。＊は型式が想定される。

南麓に花開いた縄文時代
The Southern Foothills Of Mt.Akagi Blossomed Into Jomon Culture

赤城山は群馬県のほぼ中央に位置し、かつては富士山型の標高2500m級のコニーデ式火山でした。榛名山、妙義山とともに上毛三山の一つに数えられ、日本百名山、日本百景の一つにも選ばれています。中央カルデラの周囲を1200～1800mの峰々が取り囲み、その外側に緩やかな裾野が広がって古代から人々の豊かな生活を育んできました。

図3　柳久保遺跡群（城南住宅団地）と赤城山　昭和61年撮影

世界最古級の縄文土器
The Oldest Jomon Potteries In The World

縄文土器は今から13500年前に発明されました。土器が世界のどの地域で発生したのかまだ解明されていません。日本を含めた東アジアから古い土器が見つかっています。食物を土器で煮炊きすることで殺菌され、軟らかくなったため歯の消耗を防げたことから、長寿化につながりました。また、土器とほぼ同時に発明された弓矢を使って、人々は安全な狩りができるようになりました。

図4　泉福寺洞窟の豆粒文土器

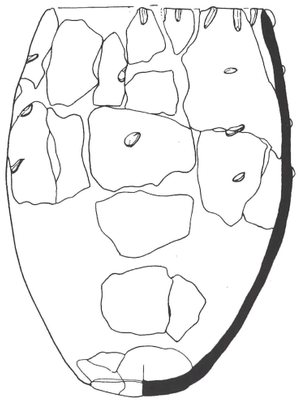


図5　泉福寺洞窟の豆粒文土器

豆粒文土器

佐世保市
泉福寺洞窟
草創期・13500年前
高さ24㎝
佐世保市教育委員会蔵

図6　徳丸仲田遺跡の隆起線文土器

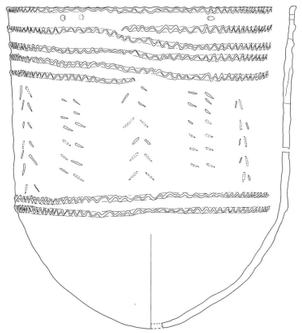


図7　徳丸仲田遺跡の隆起線文土器

隆起線文土器

前橋市
徳丸仲田遺跡
草創期・12000年前
高さ29㎝
群馬県埋蔵文化財センター蔵

図8　下宿遺跡の爪形文土器

図9　下宿遺跡の爪形文土器

爪形文土器

太田市下宿遺跡
草創期・11500年前
高さ29㎝
太田市教育委員会蔵

縄巻き棒を回転させた撚糸文
"Yoriito-mon": Potteries Having Rouletted Patterns Of A Stick Coiled A Cord Or Cords

早期になると尖り底の土器となり文様に縄を使います。また、土器の保有数も格段に増えてきます。草創期は移動中心な暮らしでしたが、早期は定住生活になったためです。また、東京湾沿岸には貝塚がたくさん残されます。多量の貝を収穫して一気に土器で煮沸し、干物をつくり交易品としました。このように安定した時代背景のため同じ形の土器が日本各地からたくさん見つかります。

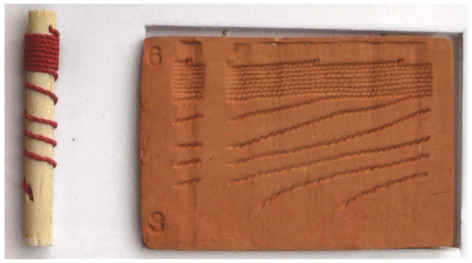


図10　撚糸文の工具と文様

撚糸文…棒に撚り糸を巻き付けた絡条体と呼ばれる工具。巻き方は多様で一方向に巻く、編み目状に巻く、異方向に巻くなど工夫が凝らされる。絡条体を回転施文したものを撚糸文とよぶ。

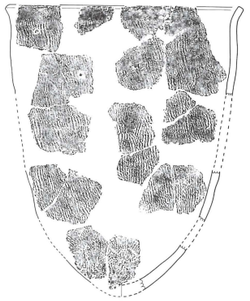


図11　城山遺跡の井草式土器

井草式土器

渋川市城山遺跡
早期・10000年前
高さ30㎝
渋川市教育委員会蔵

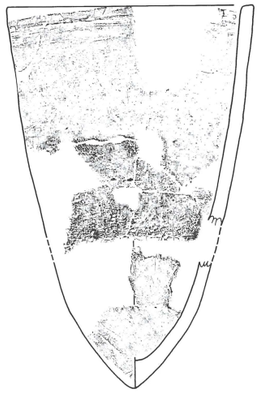


図13　柳久保遺跡の平坂式土器

平坂式土器

前橋市柳久保遺跡
早期・9500年前
高さ32㎝
前橋市教育委員会蔵

図12　城山遺跡の井草式土器

図14．柳久保遺跡の平坂式土器

文様の回転スタンプ　押型文土器

"Oshigata-mon":Potteries Having Rouletted Patterns Of A Stick Curved Patterns

早期前半から中頃にかけて押型文土器が近畿地方で発生し、日本の東西に広がりました。撚糸文は棒に縄を巻きましたが、押型文は棒に文様を直接彫りました。近畿で生まれた押型文土器もやがて中部高地で盛んに使われました。関東地方では撚糸文土器や無文土器、沈線文土器に混じって出土します。

図16　頭無遺跡の細久保式土器

図15　押型文の工具と文様

押型文・・・彫刻した丸棒を回転させることによって土器の器面に文様がつけられた。丸棒の刻みの形によって山形文・格子目文、楕円文、市松文、それらを複合した文様が表現される。

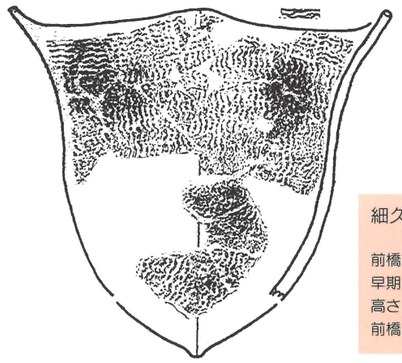


図17　頭無遺跡の細久保式土器

細久保式土器

前橋市頭無遺跡
早期・9000年前
高さ17㎝
前橋市教育委員会蔵

図18　頭無遺跡の細久保式土器

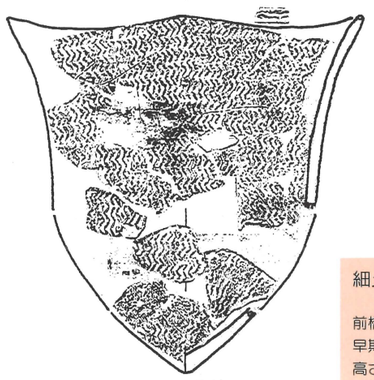


図19　頭無遺跡の細久保式土器

細久保式土器

前橋市頭無遺跡
早期・9000年前
高さ19㎝
前橋市教育委員会蔵

渦巻き文様の出現　沈線文土器

"Chinsen-mon":Potteries Having patterns Of Grooved Lines

早期中頃、関東地方から東北地方、北海道渡島半島にまで広がった沈線文・貝殻沈線文系土器の一群は縄文による文様がほとんど姿を消し、沈線で幾何学文が描かれ器面を飾ります。その特色といえるものは、図20の渦巻き文や図23の渦巻き文です。縄文土器に多く使われた渦巻き文のルーツはここから始まったのです。

田戸上層式土器

前橋市頭無遺跡
早期・9000年前
高さ30㎝
前橋市教育委員会蔵

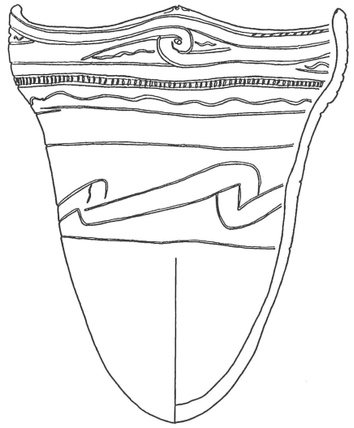


図20　頭無遺跡の田戸上層式土器

図21　頭無遺跡の田戸上層式土器

図22　田面木平（1）遺跡の物見台式土器

図23　田面木平（1）遺跡の物見台式土器

物見台式土器

八戸市
田面木平（1）遺跡
早期・9000年前
高さ43㎝
八戸市博物館蔵

ラーメン丼の雷文はここから？

"Kaminari-mon"Where Is A Pottery Having patterns Of Grooved Lines Of Lightning Shapes From?

ラーメン丼の内側には雷文が付けられています。この雷文とよく似た文様が9000年前の土器にもありました。ヘラを使って描いた雷文は、貝殻の縁を使ったギザギザで埋められています。キャリパー形といった口が拡がる器形の上部を飾っており、12個の雷文が描かれています。

図25　頭無遺跡の田戸上層式土器

田戸上層式土器

前橋市頭無遺跡
早期9000年前
高さ40㎝
前橋市教育委員会蔵

図24　食器の雷文

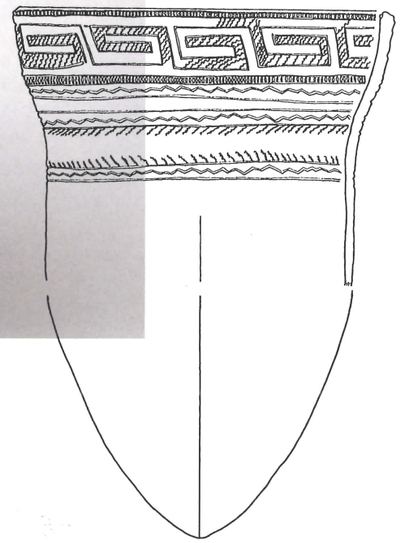


図26　頭無遺跡の田戸上層式土器

沈線文から条痕文へ

"Chinsen-mon" To "Jokon-mon": Changing Pottery's Patterns From Grooved Lines Patterns to Finely Incised Line Patterns.

4つの波状口縁の下に菱形文様が描かれ、沈線の間は貝殻腹縁を使ったギザギザで埋められています。貝殻によるギザギザもやや間隔を空けてまばらになり、器形のキャリパーもくびれが弱くなっています。このように盛んに使われた沈線文にも衰退の兆しがみえてきます。

田戸上層式土器

前橋市頭無遺跡
早期・8800年前
高さ31㎝
前橋市教育委員会蔵

図28　頭無遺跡の田戸上層式土器

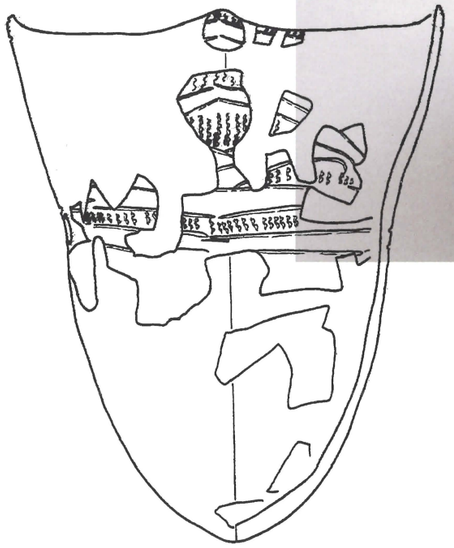


図27　頭無遺跡の田戸上層式土器

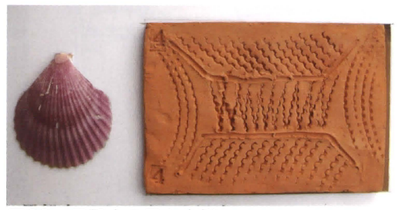


図29　貝殻文の貝と文様

貝殻文…貝を使って文様をつけたもの。サルボウやハイガイなどのスジのあるアナダラ属の貝の縁を土器に押し当てる腹縁文、貝の背中の丸い部分を押し当てた貝殻背面圧痕などがある。

福島からもたらされた常世式土器

"Tokoyo Type":A Pottery derived From Aizu Region Of Fukushima Prefecture

会津地方を中心に広がりをみせる貝殻文土器の常世式は会津盆地の北東、雄国山西麓の喜多方市塩川町の常世原田遺跡で最初に発見されました。頭無遺跡で見つかった常世式土器も福島からもたらされました。文様は貝殻の縁を使った爪形文、棒状の工具による刺突文が交互に描かれています。

常世式土器

前橋市頭無遺跡
早期・9000年前
高さ35㎝
前橋市教育委員会蔵

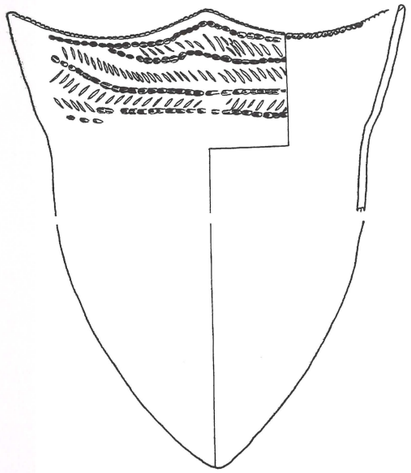
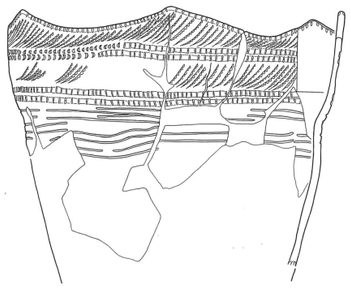


図31　頭無遺跡の常世式土器

図30　頭無遺跡の常世式土器



常世式土器

福島県
常世原田遺跡
早期・9000年前
高さ35㎝
福島県立博物館蔵

図32　常世原田遺跡の常世式土器

図33　常世原田遺跡の常世式土器

菱形文様を持つ大型土器

Large Pottery Having Patterns Of Grooved Lozenge Shape

高さ45㎝の大型の土器で、植物の繊維と砂粒を多く混ぜた粘土で作られています。内外面には貝殻による条痕がびっしりと入ります。竹管で平行沈線と菱形文を4段に描いています。繊維を含むことや貝殻条痕文が入ることから田戸上層式から子母口式への過渡期の土器です。

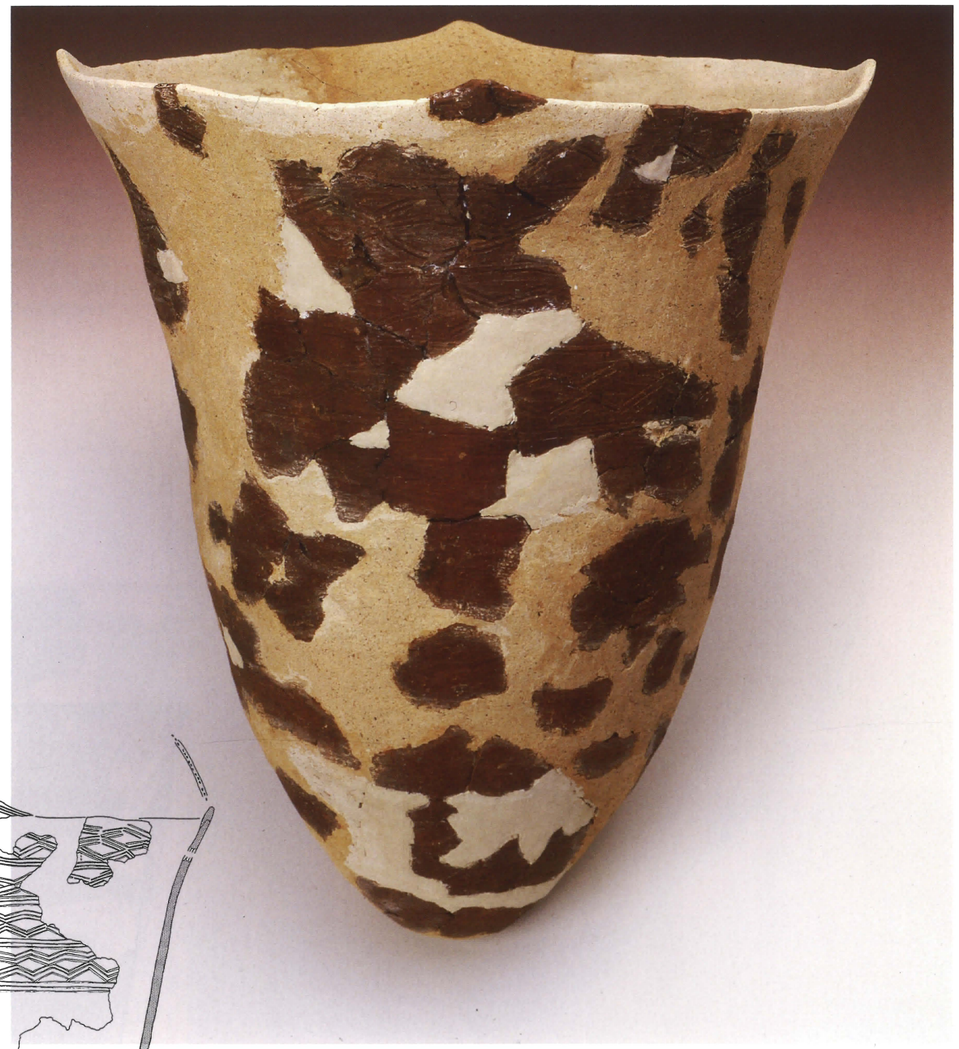


図35　頭無遺跡の子母口式併行の土器

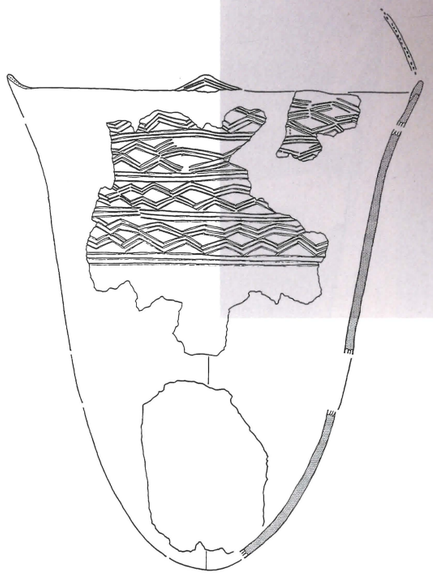


図34　頭無遺跡の子母口式併行の土器

子母口式並行の土器

前橋市頭無遺跡
早期・8000年前
高さ45㎝
前橋市教育委員会蔵

縄文海進と豊かな暮らし

"Jomon Transgression and Living In Affluence"

縄文早期後半になると気候の温暖化が進み、貝類もたくさん収穫できます。また、クリやクルミの落葉広葉樹林も拡がります。食生活が豊かになり住まいも向上することで新たな土器文化が芽生えてきます。条痕文系土器の登場です。地文に貝殻を擦りつける貝殻条痕と粘土に植物繊維を練り込んだ「繊維土器」が広く採用されます。文様も無文化現象がみられ、器形も砲弾形となります。図の土器には貝殻条痕文が入っていませんが、沈線文から条痕文へ変わる時期の土器です。

子母口式土器

前橋市頭無遺跡
早期・8000年前
高さ33㎝
前橋市教育委員会蔵

図36　頭無遺跡の子母口式土器

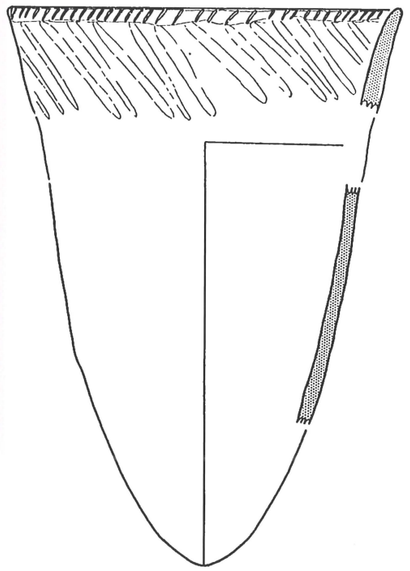
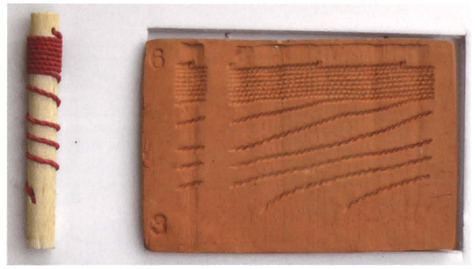


図37　頭無遺跡の子母口式土器

絡条体圧痕で飾る子母口式土器

"Shiboguchi Type":A Pottery Decorated Patterns With A Stick Coiled A Cord

平口縁で砲弾形をした尖り底の土器は、全面に貝殻条痕が付けられ口縁を絡条体圧痕で飾ります。絡条体圧痕は、縄を棒に巻いたものを土器に押し付けて文様を付けます。条痕文土器のトップバッターである子母口式土器にはいろんな文様がつけられるといった試行錯誤がつづきます。やがて繊細な幾何学文で飾られる鵜ケ島台式土器で文様が確立していきます。



絡条体圧痕文…棒に撚り糸を巻き付けた絡条体と呼ばれる工具。巻き方は多様で一方向に巻く、編み目状に巻く、異方向に巻くなど工夫が凝らされる。絡条体を回転施文したものを撚糸文と呼び、押圧したものを絡条体圧痕文と呼ぶ。

図38　絡条体圧痕の工具と文様

子母口式土器

前橋市頭無遺跡
早期・8000年前
高さ37㎝
前橋市教育委員会蔵

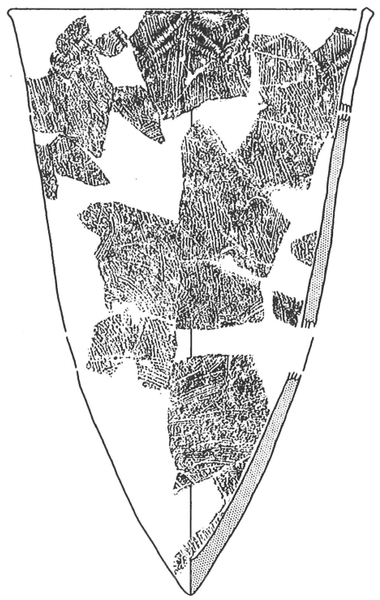


図39　頭無遺跡の子母口式土器

図40　頭無遺跡の子母口式土器

タスキ文様の大型土器

Large Pottery Having Patterns Of Grooved Crossing Slant Lines

貝で内外を整形された大型土器。この土器の文様は粘土を貼った隆起線文ですが、右頁の土器は沈線文です。文様は２段のタスキ文で上と下では半分ずつ文様をずらしています。タスキ文も上段の下がり方は右→右→左→右→右とやや複雑に繰り返しています。下段は右下がりと左下がりを繰り返します。図43と図44の２つの土器は、離れた地域で作られましたが、土器の形や文様が良く似ています。

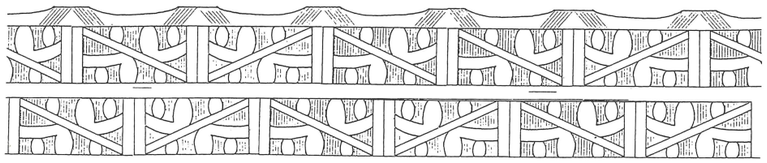


図41　下鶴谷遺跡の鵜ケ島台式土器文様の展開模式図

鵜ケ島台式土器

前橋市下鶴谷遺跡
早期・7500年前
高さ48㎝
前橋市教育委員会蔵

図42　下鶴谷遺跡の鵜ケ島台式土器

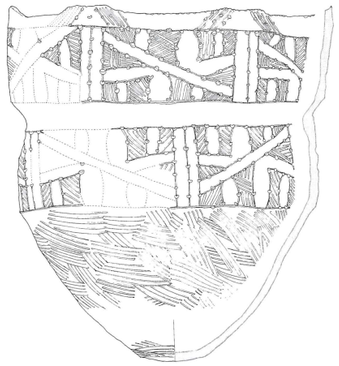


図43　下鶴谷遺跡の鵜ケ島台式土器

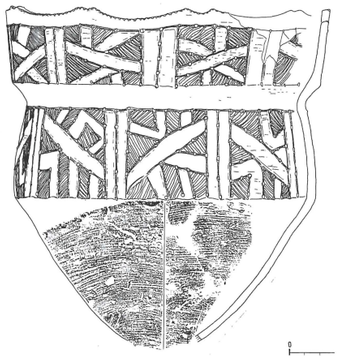


図44　東京都多摩ニュータウンNo.72遺跡の鵜ケ島台式土器

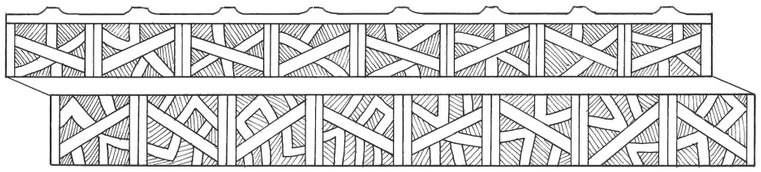


図45　東京都多摩ニュータウンNo.72遺跡の鵜ケ島台式土器文様展開図

鵜ケ島台式土器

八王子市多摩ニュータウンNo.72遺跡
早期・7500年前
高さ45㎝
東京都埋蔵文化財センター蔵

尖底土器から平底土器へ

"Pointed Potteries" To "Flat Bottom Potteries" :Changing Pottery's Shapes And Settlement Patterns

貝殻条痕で土器の内外面を丁寧に整形した後、外面に沈線で上下２段にタスキ文が菱形の構成で描かれます。区画は４単位ですが３個は等間隔で残り１個が狭くなって、その間の口縁突起も省略されています。貝殻条痕文土器までは底が尖った土器の時代でした。やがて温暖化が進み縄文海進が最も広がり、板倉町あたりまで海になりました。縄文早期から前期へと時代が大きく変わっていきます。前期からは土器の底が平らになります。

鵜ケ島台式土器

前橋市苗ケ島大畑遺跡
早期・7500年前
高さ49㎝
前橋市教育委員会蔵

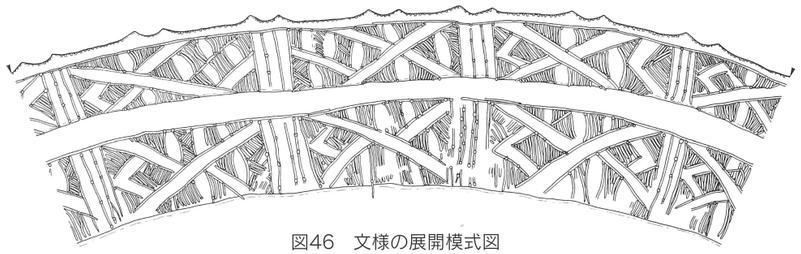


図46　文様の展開模式図

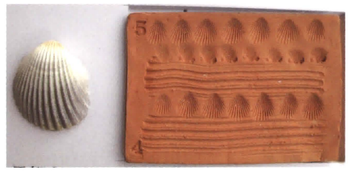


図47　貝殻条痕の貝と文様

貝殻条痕文…サルボウやハイガイなどのスジのあるアナダラ属の貝を引きずってつけられた文様。

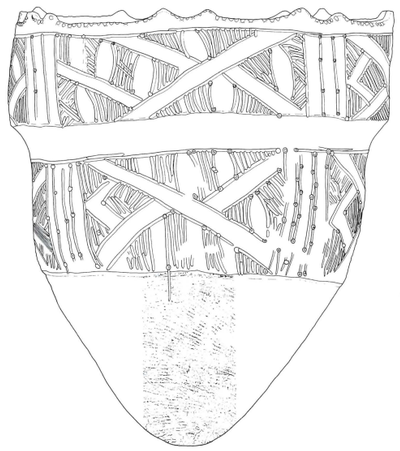


図48　苗ケ島大畑遺跡の鵜ケ島台式土器

図49　苗ケ島大畑遺跡の鵜ケ島台式土器

展示施設のご案内

Information For Exhibition In The Southren Foothills Of Mt. Akagi

No.	名　　称	所在地	電　　話	開館時間	休館日
1	渋川市北橘歴史資料館	377-0062　渋川市北橘町真壁246-1	0279-52-4094	9：00-17：00	月曜日、祝日の翌日、年末年始
2	群馬県埋蔵文化財センター 発掘情報館	377-8555　渋川市北橘町下箱田784-2	0279-52-2513	9：00-17：00	土曜日、祝日の翌日、年末年始
3	前橋市総社資料館	371-0853　前橋市総社町総社1584-1	平成28年10月オープン予定		
4	前橋市文化財保護課総社ギャラリー	371-0853　前橋市総社町3-11-4	027-280-6511	9：00-17：00	土・日曜日、祝日、年末年始
5	相川考古館	372-0046　伊勢崎市三光町6-10	0270-25-0082	9：00-16：30	月曜日、年末年始
6	大室はにわ館	379-2104　前橋市西大室町2510	027-268-0439	9：00-16：00	4～11月…月～水、祝日開館 12～3月…月～金、祝日開館 年末年始
7	前橋市粕川歴史民俗資料館	371-0204　前橋市粕川町膳48-1	027-230-6388	10：00～16：00	月・火曜日（祝日は開館）、 年末年始
8	桐生市新里郷土資料館	376-0123　桐生市新里町武井693	0277-74-3881	9：00-17：00	月曜日、祝日、年末年始
9	赤堀歴史民俗資料館	379-2204　伊勢崎市西久保2-98	0270-63-0030	9：00-17：00	月曜日、祝日の翌日、年末年始
10	岩宿博物館	379-2311　みどり市笠懸町阿佐美1790-1	0277-76-1701	9：30-17：00	月曜日、祝日の翌日、年末年始
11	みどり市大間々博物館 コノドント館	376-0101　みどり市大間々町大間々1030	0277-73-4123	9：00-17：00	月曜日、祝日の翌日、年末年始

図50　展示施設の位置

●写真提供

岩宿博物館＝図6・12・16・30・36・42・49
太田市教育委員会＝図8
小川忠博氏＝図28
群馬県教育委員会＝図6
佐世保市教育委員会＝図4
八戸市博物館＝図22
渋川市教育委員会＝図12
福島県立博物館＝図33
福島県立埋蔵文化財センター＝図33

●参考文献

佐世保市　1984　泉福寺洞穴の発掘記録
前橋市　1985　柳久保遺跡群Ⅴ
前橋市　1988　柳久保遺跡群Ⅷ
八戸市　1988　田面木平（1）遺跡
北橘村　1989　城山遺跡発掘調査報告書
福島県立博物館　1999　常世原田遺跡
岩宿博物館　2004　底の尖った土器
群馬県教育委員会　2005　徳丸仲田遺跡
上毛新聞社　2005　群馬の遺跡２　縄文時代
東京都埋文センター　2006　多摩ニュータウンNo.72
太田市　2010　下宿遺跡

赤城山南麓の縄文Part2
Jomon Period In The Southern Foothills Of Mt.Akagi.Part 2
底の尖った土器
POINTED POTTERIES

平成28年７月15日
発行：前橋市教育委員会事務局文化財保護課
〒371-0853　群馬県前橋市総社町三丁目11-4
電話027-280-6511
Eメール　bunkazai@city.maebashi.gunma.jp